西村証券 企業調査速報

2025/01/28

［金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第26号：加入協会‥日本証券業協会］

三洋化成工業（コード 4471）

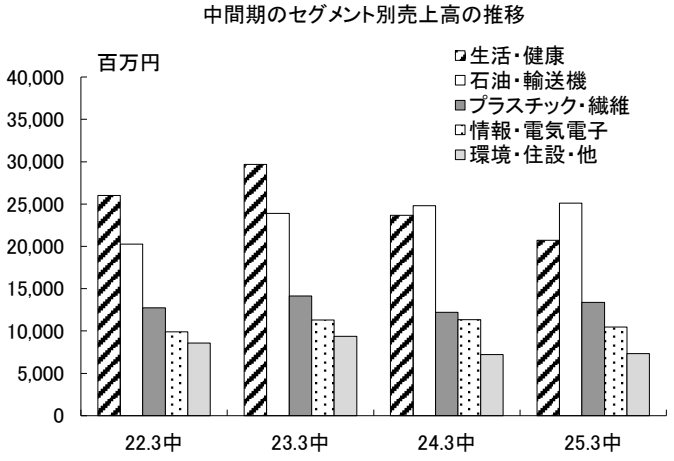
◆各決算期の第２四半期業績推移(連結)

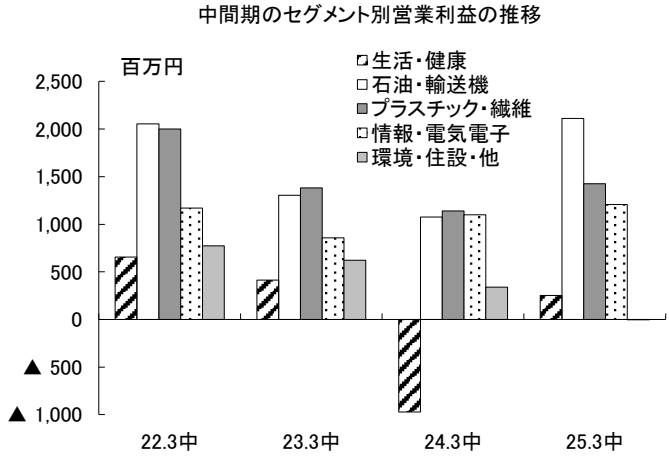
決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
22.3	77,519	5,918	200.4	85.0	6,834	▲5,580	▲3,457	21,562
23.3	88,439	3,807	213.9	85.0	6,667	▲6,459	▲2,158	17,085
24.3	79,278	2,020	199.2	85.0	10,055	▲3,222	▲2,698	21,739
25.3	77,030	4,453	42.6	85.0	4,905	▲3,475	▲6,777	21,722

◆通期業績推移(連結)（25.3 予は会社側発表値）

決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
22.3	162,526	11,868	303.8	170.0	11,328	▲11,704	▲5,979	18,171
23.3	174,973	8,123	257.6	170.0	10,852	▲10,172	▲2,336	17,042
24.3	159,510	4,886	▲385.0	170.0	19,814	▲6,264	▲4,006	27,188
25.3予	145,000	9,000	180.9	170.0	－	－	－	－

（CF＝ｷｬｯｼｭ･ﾌﾛｰ。現金及び現金同等物は各期末値。▲はマイナス。単位は百万円、円）





25 年 3 月期中間期の業績概況…25 年 3 月期の中間期（24 年 4～9 月）は、高吸水性樹脂（以下、SAP）事業などからの撤退の影響により、売上高が前年同期に比べて約 3%減少した。一方、自動車関連産業や半導体分野での需要回復に加え、SAP 事業からの撤退に伴う収益性改善などから、営業利益は約 121%増加した。

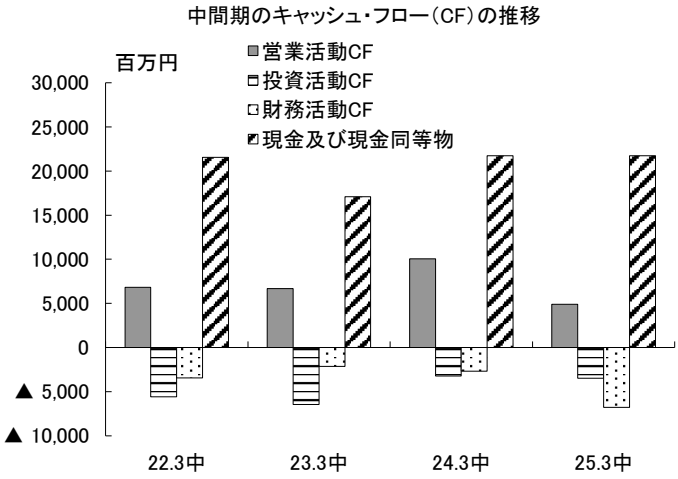
当期の業績は、売上高 770 億 3,000 万円（前年同期比 2.8%減）、営業利益 44 億 5,300 万円（同 120.5%増）、経常利益 49 億 9,100 万円（同 0.9%増）、親会社株主に帰属する中間純利益（以下、中間純利益）9 億 4,000 万円（同 78.6%減）となった。営業外費用で為替差損 4 億 4,400 万円（前年同期は営業外収益で為替差益 23 億 2,700 万円）が計上されたことから、経常利益の伸びはわずかとなっている。また、前年同期は特別利益において投資有価証券売却益 20 億 3,000 万円が計上されたのに対し、当期は特別損失において事業構造改革費用 21 億 5,100 万円（前年同期は無し）が計上されたことなどから、中間純利益は大幅な減益となった。

セグメント別の売上高は、生活・健康産業関連分野 207 億 2,900 万円（同 12.5%減）、石油・輸送機産業関連分野 251 億 1,200 万円（同 1.2%増）、プラスチック・繊維産業関連分野 133 億 8,400 万円（同 9.5%増）、情報・電気電子産業関連分野 104 億 8,400 万円（同 7.5%減）、環境・住設産業関連分野他 73 億 1,800 万円（同 1.5%増）。また、セグメント別の営業利益（調整額を

除く）は、生活・健康産業関連分野 2 億 5,200 万円（前年同期は 9 億 7,300 万円の損失）、石油・輸送機産業関連分野 21 億 1,300 万円（前年同期比 96.6%増）、プラスチック・繊維産業関連分野 14 億 2,600 万円（同 25.1%増）、情報・電気電子産業関連分野 12 億 600 万円（同 9.6%増）、環境・住設産業関連分野他 200 万円の損失（前年同期は 3 億 3,800 万円の黒字）となった。

生活・健康産業関連分野では、売上高においては特に健康産業関連分野で SAP 事業からの撤退が大きく影響したものの、同事業撤退に伴う収益性改善によって営業損益は黒字に回復した。石油・輸送機産業関連分野では、潤滑油添加剤が需要回復で増加した一方、自動車シート向けなどのポリウレタンフォーム用原料や海外向けの自動車内装表皮材用ウレタンビーズが軟調に推移し、わずかな増収だったが、製品ミックスの向上などにより大幅な増益となった。プラスチック・繊維産業関連分野では、プラスチック産業関連分野の永久帯電防止剤、塗料コーティング用薬剤・添加剤などの販売が好調に推移し、増収増益となった。情報・電気電子産業関連分野では、半導体市場の回復により関連材料が売上を伸ばした電気電子産業関連分野で好調だった一方、情報産業関連分野において重合トナー用材料が中国での生産事業撤退の影響で低調に推移し、減収となったが、半導体分野の需要回復や収益性改善などによって増益に。環境・住設産業関連分野他においては、住設産業関連分野の建築シーラント用原料が順調に推移したものの、環境産業関連分野の高分子凝集剤用カチオンモノマーが低調で、増収・赤字となった。

キャッシュフロー（以下、CF）については、当期末における現金及び現金同等物残高は 217 億 2,200 万円（前年同期末比 0.1%減）となった。営業活動による CF は、税金等調整前中間純利益 22 億 1,200 万円（前年同期比 66.2%減）、売上債権の減少額 64 億 6,900 万円（前年同期は増加額 14 億 7,000 万円）、たな卸資産の減少額 14 億 7,200 万円（前年同期比 24.9%減）、仕入債務の減少額 52 億 2,800 万円（前年同期は増加額 40 億 4,800 万円）などにより、49 億 500 万円の収入（前年同期比 51.2%減）となった。投資活動による CF は、固定資産の取得による支出 38 億 7,700 万円（同 6.8%増）などにより、34 億 7,500 万円の支出（同 7.9%増）に。財務活動による CF は、長短借入金の返済による支出 46 億 300 万円（同 752.4%増）、配当金の支払額 18 億 8,000 万円（同 0.1%増）などにより、67 億 7,700 万円の支出（同 151.2%増）となった。



25 年 3 月期の通期業績見通し…25 年 3 月期の通期業績は、売上高 1,450 億円（前期比 9.1%減）、営業利益 90 億円（同 84.2%増）、経常利益 100 億円（同 22.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益（以下、当期純利益）40 億円（前期は 85 億 100 万円の損失）の見通しで、24 年 9 月 27 日付けで売上高以外の会社側期初発表値（営業利益 80 億円、経常利益 95 億円、当期純利益 25 億円）から増額修正されている。

本レポートは、会社側が発表した決算短信や決算説明資料などに基づき作成しており、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなさいますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。